

	香川大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：109 第2年次：5） ※医学科を記載。 医学系研究科（D：30）
沿革・設置目的	医学に関する教育・研究を行うことを目的に、新設の香川医科大学として設置されたのち、平成15年（2003年）、香川大学との統合により香川大学医学部として設置された。 <u>昭和53年（1978年）香川医科大学医学部設置</u> 昭和61年（1986年）大学院医学研究科設置（平成12年（2000年）医学系研究科に改称） 平成16年（2004年）国立大学法人に移行
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 香川大学憲章等に基づき、地域に根ざした医療人として地域医療に貢献し、かつ地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことのできる国際的視野を持った医師・医学研究者の養成を、国公私を越えた医療系大学との連携も活かしながら積極的に推進する。 ○ 希少糖研究を発展させた生活習慣病（糖尿病や動脈硬化の予防等）やがん疾患（がん細胞増殖抑制等）の治療研究を始めとする研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ かがわ遠隔医療ネットワーク（K-MIX）を利用した遠隔医療の実績を活かし、有人島を数多く有する香川県の医療課題に対応するとともに、香川県の課題である糖尿病克服に向けた事業への活用を推進する等、地域の医療課題の解決に貢献し、その成果を国内外に発信する。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センター等としての取組を通じて、香川県における地域医療の中核的役割を担う。